

ひよこコミュニティ保育



ひよこコミュニティ保育のあゆみ

私たちの住む鳶尾、荻野地区は緑豊かな自然に恵まれたところです。

鳶尾地区は、1977年より団地として開発され、多くの核家族が移り住み、人々のつながりはありませんでした。

そんな中、子育て中の母親たちは、さまざまな子どもの様子に不安を感じるようになり、共に話し合おうと仲間作りが始まりました。1979年11月、数名の母親でよりよい子育てを目指す学習グループを結成し、翌年2月、この会は厚木市教育委員会より自主学習グループとして認められ、「きさらぎ会」と名付けました。厚木市として初めての保育付きの講座を開催し、その後も地域の人々と共に学習する機会を設けてきました。その学習会の中で、幼児期の大切さ、早期集団保育の重要性を再確認し、1980年10月、荻野公民館にて手作り保育が始まりました。これが厚木市コミュニティ保育推進事業の第1号でもある「ひよこコミュニティ保育」の始まりです。

しかし、公民館での保育活動は、施設面での限界があり、保育の充実をはかり地域での母親の活動の輪を広げるために、また、幼稚園年齢になった子どもたちをそのままひよこに通わせたいという母親の願いもあって、専用園舎の必要性に迫られました。

母親たちの努力と地域の人々、厚木市の理解と協力のもとに、1983年4月専用園舎が完成し、より充実した保育と母親の活動を行ってきました。

開設以来、保育形態や、自主運営のあり方など、試行錯誤しながら現在に至っていますが、「子どもにとって何が大切か」を常に話し合いながら進めていくという基本姿勢は変わっていません。

ひよこコミュニティ保育は、子どもを真ん中に親と保育者が一緒に子育てを考え、保育の場を作っています。そして、母親同士の交流を深め、わが子、わが家庭という狭い視野でなく、広く地域社会にも目を向け、皆で子育てをすることで、共に育ち合えるよう努力し続けたいと思います。

自主運営について

ひよこの運営

ひよこコミュニティ保育は母親全員と保育者で運営され、「園長」のような立場の責任者に当たる人がいません。未来を担う子ども達が心身共に健やかに育つこと、豊かな感性を持ち、自分で考え行動できること、そんな人間に育ってほしいと願い、ゼロから出発して、保育も運営も試行錯誤を繰り返しながら、30年の歳月がたちました。

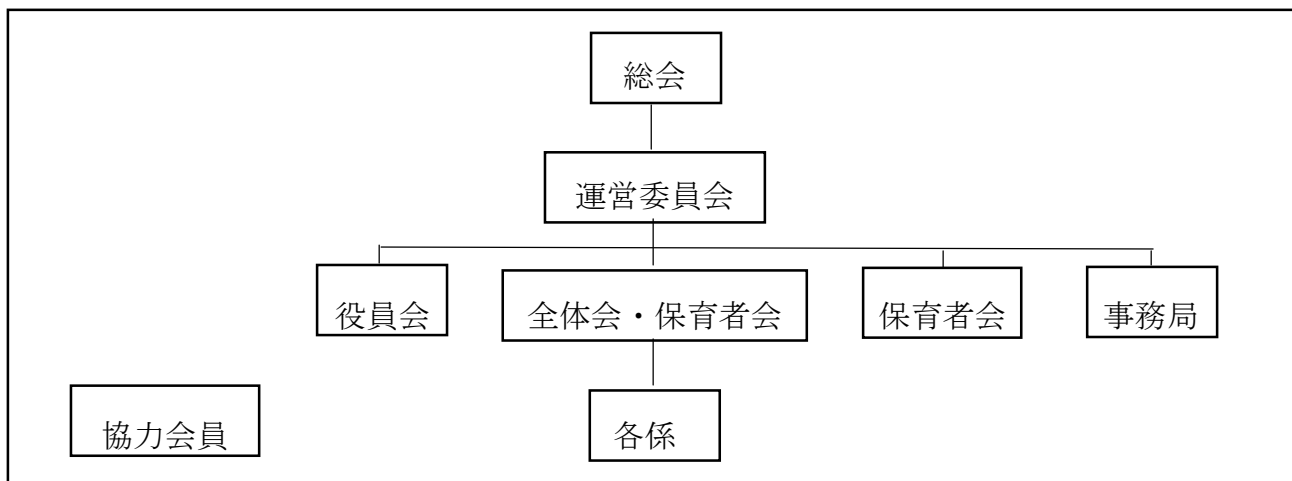
園長のいない「ひよこ」では、保育・運営ともに話し合いによって決め、一人一人に責任があることを自覚し、お互いに協力し合い、助け合って臨んでいます。保育者と母親が協力して保育を実施する中、保育内容や運営のあり方・育児の悩み・集団の中での我が子のことや母親自身の悩みなどを常に話し合い確認し合う場として全体会、保護者会があり、子どもも保育者も母親も共に育ち合える場となっています。

組織は、役員・各係に分かれ、その他に季節の行事の実行委員として母親全員が関わります。保育者は専任として保育を担当します。役員は総会の場で選挙によって決められ、運営の中枢を担います。また、母親は保育当番として直接保育にも参加します。皆が同じことをしなければならないのではなく、乳児を抱えた人も、妊娠中の人もいる中で、今私にできることは何かしらという気持でお互いに思いやりを持って助け合いながら参加します。

営利を目的とせず、保育料・入園金・設備金などの収入と補助金により、運営費を賄っており、その管理を会計（母親）が担当しています。

「ひよこ」は何かをしてもらうところではなく、自分たちで創っていく場であり、常に前向きな姿勢で臨み、さらなる努力が必要です。そして何よりも、なぜ自分が「ひよこ」に関わっているのかを自らに問うことを忘れてはならないでしょう。

運営組織（機関）図



地域との関わり

現在、子供を育てていく上で、以前よりも豊富に便利に手に入れることが可能になったのは、子育てに関する情報ではないでしょうか。インターネットで検索したり、テレビ、雑誌等様々なメディアで子育て情報を得ることができます。にもかかわらず、子育ての大変さ、難しさを私たちが感じてしまうのはなぜでしょうか。理由のひとつに、人との関わりが減ってしまったことが、あげられるのではないのでしょうか。私たち、子どもを育てていく親にとって、家族以外に一番身近に関わることができる人は、地域の人達ではないのでしょうか。

地域の中で子ども達はのびのびと育てて欲しい、また、そのようなことのできる地域であるために、ひよこでできることはなにか、と考え活動してきました。

まず、子ども達が遊ぶ環境作りでは、ひよこの創設時に「地域に子どもの為の公共施設の実現」が活動方針の一つとしてあげられ活動していく中で、1989年「鳶尾・公共施設を考える会」を発足させ、結果として児童館と老人憩いの家の複合施設が出来ました。この間、自治会や地域で活動する様々な団体と話し合いを持ち、どのような施設にするのが地域にとって一番良いか話し合いました。話し合いの記録が記されたノートに、こんな意見が記録されています。

「幼児を連れた若い母親が公園へ行っても、お互い話すよりも、自分の子どもばかり見ていてつながりがない。幼児が集まる場所があれば、母親どうしのつながりが生まれ、地域作りになると思う。」

「子どもが良くなければ、地域も良くならない。」

20年も前の意見でありながら思わずうなずいてしまうのは、地域の中での私たちのあり方には、いつの時代でも根本的には変わらない何かがあるからでしょうか。これからも、ひよことして、子育て中の親として、考えていきたいものです。

また、子どもを育てていく上で、自然環境については、親として関心が高い問題です。ひよこでは、園外保育でよく歩く鳶尾山が、禁猟区でなかった為、地域や市に働きかけて1988年、鳶尾山は禁猟区となりました。また、荻野運動公園の建設にあたっては、荻野の豊かな自然を残すような計画を要望し、市に図面を持ってきてもらい、説明会を開きました。

また、現在、年2回の講座を開いています。これは、ひよこ内だけではなく、地域の人々と共に育ち合いたいという思いから、きさらぎ会発足時より、子育て、環境、人生などと様々なテーマで行っています。

さらに、鳶尾地区及び周辺地域に年3回、「ひよこコミュニティ保育だより」を発行しています。地域の方にひよこの活動への理解をしていただくとともに、子育て中の人には、少しでも、楽しい子育てへのヒントや励みになればと思います。

公民館時代より、専用園舎をさがし保育を始めるにあたっては、当時の公民館長の花上義晴氏、園舎の地主である広川金家氏、当時の市の児童福祉係長石井氏、当時の市議会議員石井茂氏とたく

さんの方々より、ひよこの活動への賛同を得、協力をしていただきました。30周年を迎え、これまでのことは、随分前のことと考えてしまいがちですが、今のひよこがあるのは、たくさんの方々の協力があったことです。これを忘れず、どうしたら地域に還元できるか私たちにできることを考え続けて行きたいと思います。

また、現在、保育の一環として、畑を借りてじゃがいもや大根を作ったり、蚕見学やレンゲ畑に行ったり、おたまじゃくし取り、どろんこ広場などに行っています。これらも、地元の方々に協力いただいています。養蚕農家が減っていく中、まだ養蚕を続けている方を探して紹介して下さったり、本当に暖かく見守っていただいています。また、一望閣（特別養護老人ホーム）の皆さんとのわらべうたを通しての交流は、2008年に移転してしまうまで、年長の子ども達にとって、ひよこの思い出の一つとなる楽しい体験でした。

このような地域の方々の協力に感謝し、ひよことして地域に対してできることを考えて行きたいと思います。現在は、バザー・運動会などの行事を通して、地域との交流を深め、地区や児童館の掃除に積極的に参加しています。

忙しく過ぎていく毎日の中で、つい目は、わが子にばかり行きがちですが、その子どもが育つ地域はどうなっているか、目線を上げて視野を広げて、ひよことしてできることは何かこれからも考えて行きたいと思います。

講座・学習会の記録

年・月	テーマ	講 師
1980. 2	幼児の家庭教育のあり方	和光幼稚園 主事 秋野 勝紀 氏
3	絵本と子ども	福音館編集長（童話作家） 斉藤 惇夫 氏
4	自然と子ども	昆虫作家 波多 江醇 氏
7	フィルム上映「遊べ子ども達」 遊具製作と子どもの遊び	武蔵野美大研究スタッフ 及部 克人 氏
1981. 5	集団の中での子どもの遊び	かぐのみ幼稚園 三田村園長・小関先生
6	よい絵本とは	福音館編集長（童話作家） 斉藤 惇夫 氏
7	子どもの遊びの手の労働	和光小学校 教諭 宮津 濃 氏
9	自由討論	小児科医 毛利 子来 氏
9	望ましい幼児教育とは	白梅短大付属幼稚園 村田 和子 園長
1982. 5	自立のための子育て	「どぶ川学級」著者 須長 茂夫 氏
7	現代の子どもの発達のゆがみと親の役割	和光小学校 副校長 小松福三氏
9	望ましい子育て	白梅短大付属幼稚園 村田 和子 園長
1983. 1	幼児とわらべうた	コダーイ芸術教育研究所 羽仁 協子 氏
2	現代っ子と遊び	足柄上郡相和小学校 教諭 尾崎 忠昭 氏
7	遊びの実践 石・ボール・縄跳びを使った遊び	同上
9	本、子ども、絵本 「ぐりとぐら」「いやいやえん」	著者 中川 季枝子 氏
5,6,7,10	わらべうた	いずみ保育園 保母 井上 秋子 氏
1983. 4	一年生の学校生活	厚木市立鳶尾小学校 教諭 吉野 房子 氏
9	基本的な生活習慣の重要性	戸田市立新曽北小学校 教諭 村越 晃 氏
11	子どもの可能性を伸ばすためには	宮城教育大学 助教授 飴屋 喜敏 氏
12	幼児期における音楽、リズム	同上
1985.1,7	わらべうた	いずみ保育園 保母 井上 秋子 氏
5	子どもの成長のために	親業訓練インストラクター 三矢 順子 氏
6	フィルム上映 「とりもどせ子どもの遊び」	他
9	フィルム上映「おもしろ学校の日」 おもしろ学校はどこにでも	藤沢市立村岡小学校 教諭 名取 弘文 氏
12	小さい劇場	劇団 風の子
1986. 5	子どもの遊び環境について	塚本 純久 氏
6	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	1～3巻

年・月	テーマ	講師
1986. 7	わらべうた	ひよこコミュニティ保育 保育者
9	子どもの成長と絵本	よい本を広める会代表 (かガールハウス) 高橋 正修 氏
9	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	4～6巻
12	人形劇 『かもとりごんべい』 『歯いたたオオカミ』	劇団 杉の子
1987. 5	わらべうた	ひよこコミュニティ保育 保育者
7	荻野地区にくらして	くわの実文庫代表 民生委員 石坂 三雄 氏
9	幼児期に大切なもの	白梅女子短大 教授 久保田 浩 氏
11	手芸講習会 メルヘンキューブ	布絵本作家 桐生 初枝 氏
12	人形劇 『おだんごコロコロ』	劇団 チロリン
1988. 6	荻野地区にくらして	元荻野公民館館長 花上 義晴 氏
9	子育てゆっくり じっくり ていねいに	大阪教育大 教授 秋葉 英則 氏
12	人形劇 『さるとかにとかきのたね』	愛川 おはなしキャラバン
1989. 6	荻野地区にくらして	そもさん文庫 藤江 正孝 氏
9	将来、自立できる子	大庭城山幼稚園 理事 浅川 美枝 氏
12	人形劇 『エルマーの冒険』	グループ ポリス
1990. 6	愛とは・・・	紅梅学園 菅 寿子 氏
9	お母さん勇気をもって	東京ユング研究会 主宰 秋山 さと子 氏
11	絵本の勉強会	ひよこコミュニティ保育 保育者
1991. 2	人形劇 『ちいおばさんのひとり人形劇』	がらくた座
6	森の子ども	神奈川県林業試験所 中川 重年 氏
6	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	1～4巻
9	幼児期の性	横浜市思春期問題研究所 所長 渡辺 信一 氏
1991.10	今、なぜわらべうたか	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
11	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	5巻・6巻
11	三園企画講座『今、子育ての輪を』	全国保育団体連絡会 上野 さと子 氏
1991.12	すずきまことワマンショー『ブッターマン誕生』	劇団はてな すずき まこと 氏
1992. 6	絵本の選び方	ひよこコミュニティ保育 保育者
9	幼児期に大切なもの	幼年教育研究所 所長 久保田 浩 氏
11	今、なぜわらべうたなのか	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
1993. 2	人形劇『ナミちゃん空をとぶ』	愛川 おはなしキャラバン

年・月	テーマ	講師
1993.6	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	1巻・3巻
11	人形劇 『ペロくんと仲間たち』	人形劇 ペロ
1994.1	『今の子どもゆがんでる？』 男性保育者から見た子どもたち	聖マリアンヌ保育園 保父 瀬口 哲男 氏
3,5	フィルム上映 『さくらんぼ坊や』	4巻
6	わらべうた	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	『子育てみんな好きなようにやればいい』 ～医者として父親として～	小児科医 山田 真 氏
1995.2	クニさんとひろこさんのふ・し・ぎ・だ・な	クニ 河内 氏 大井 弘子 氏
6	わらべうたってなあに	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	子育て大人はどうかかわるか	『小さい仲間』編集長 深谷 銅作 氏
1996.2	くるくるシアター 『浮き島の弁天様』	りんご座
6	わらべうたってなあに	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	子どもの成長にとって大切なこと	成光学園 指導員 藤野 知弘 氏
1997.1	人形劇 『小僧さんときつね』	人形劇団 うさぎ
6	子どもの成長にとって大切なこと	成光学園 指導員 藤野 知弘 氏
9	心を育てる食卓	青葉短期大学 教授 室田 洋子 氏
1998.1	人形劇 『ないた赤おに』	劇団 すぎのこ
6	わらべうたってなあに	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	親と子の関わり方	久保田 浩 氏
1999.1	人形劇 『おにのカーランコ』	愛川 おはなしキャラバン
6	人形劇 『ヘンゼルとグレーテル』	劇団 おもちゃ箱
9	子どもの個性を生かして	安部幼稚園 園長 安部 富士男 氏
2000.1	子どもの心と行動	愛育養護学校 津守 房江 氏
6	なぜ子どもたちにわらべうたが必要なのか	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	今、子どもの声を聴く	所沢市あかね保育園 園長 牧 祐子 氏
2001.6	人形劇『ごちそうはおあずけ』	グループ ボリス
9	今、子どもたちに生きる力を！	幼年教育研究所 所長 久保田 浩 氏

年・月	テーマ	講師
2002.6	わらべうたってなあに	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	ママ聴いて子どものつぶやき	横浜すぎのこ会 保育者 村田 道子 氏
2003.6	人形劇 『ポリとオオカミ』	人形劇団 ラ・ムニエカ
9	笑って楽しく子どもの心と体の食育のこつ	小児科医 真弓 定夫 氏
2004.6	わらべうたが子どもを救う	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	『子どもへのまなざし』 ～子育てにまよう親たちへ～	児童精神科医 佐々木 正美 氏
2005.6	人形劇『オオカミと豆の木』	人形劇団 ラ・ムニエカ
9	人として育つために、今、幼児期に大切な事は	幼年教育研究所 所長 久保田 浩 氏
2006.6	わらべうたってなあに	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	幼児期に大切なもの ～大人はどうかかわるか～	幼年教育研究所 所長 久保田 浩 氏
2007.6	人形劇『バガラとガバラとメリーちゃん	人形劇グループ わらはんど
9	『親に出来ること』 ～子どもって？どう付き合う？～	小児科医 毛利 子来 氏
2008.6	わらべうたが育む子どもの心	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	愛情の伝わる子育ての秘訣	新家庭教育協会理事 高柳 静江 氏
2009.6	おはなしパフォーマンス「くまのがっきやさん」	パントマイム ストーリーテラーズ
9	『幻のこども像』 ～子育て論にまどわされないで～	青木 悦 氏
2010.6	わらべうたは私たちに 何を伝えたいか	町田コダーイ合唱団指揮者 大熊 進子 氏
9	絵本でほどこいてゆく不思議 ～暮らし・子ども。わたし～	文筆家 松井るり子氏
2011.6	人形劇「カンとねぶくろ」	人形劇サークル 赤鬼
9	幼児や子どもの成長を阻害するもの	湘南教育研究センター副理事長 鈴木紋子氏

2012.6	わらべうた講座	ひよこコミュニティ保育 樋川久子氏
9	親の幸福論 ～子育てではぐくむ地域の絆～	音楽家・作家・元埼玉県教育委員長 松井 和氏
2013.6	人形劇「あわてん坊の三人組」	ぴょんぴょん組石原ひとみ&たろべえ
9	子育て中のお母さんに 小児科医として伝えたい事	馬嶋医院 馬嶋順子先生
2014.6	わらべうた講座	ひよこコミュニティ保育 樋川久子氏
9	子育て中のお母さんに 小児科医として伝えたい事 par2	馬嶋医院 馬嶋順子先生
2015.6	子育て中のお母さんに 小児科医として伝えたい事 par3	馬嶋医院 馬嶋順子先生
9	子どもの育ち ～遊びの中から育つもの～	茅ヶ崎市私設幼稚園 虹の丘園長 浜竹幼稚園副園長 山田 昇氏